

工事完成

国道140号（新山梨環状道路東部区間Ⅰ期）道路改良工事その1（明許）

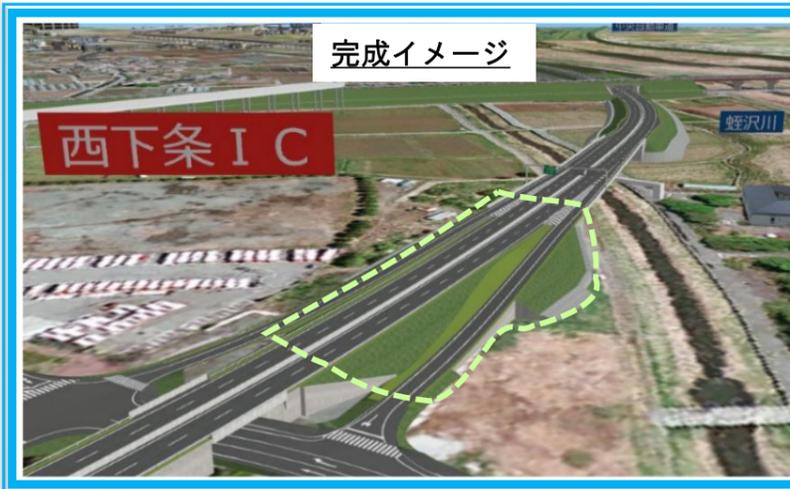
工期：平成30年9月～令和2年1月 施工者：齋藤建設 株式会社

工事概要：	道路改良工事 L=160m	盛土工 V=34,000m ³	地盤改良工（中層混合処理工） V=1,382m ³
	補強土壁工 H=1.8~7.8m A=277m ²	ブロック積み擁壁工 H=0.3~4.8m A=125m ²	排水構造物工 一式



この工事では、土を盛って西下条ICの道路の土台部分を作っています。

この後、舗装などの工事を経て車が走行できるようになります。



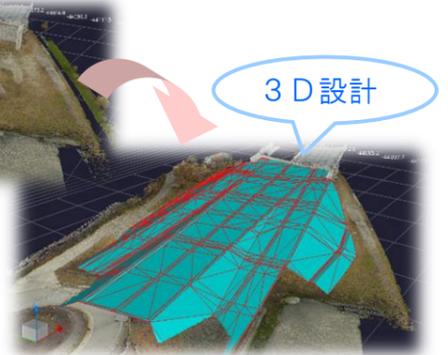
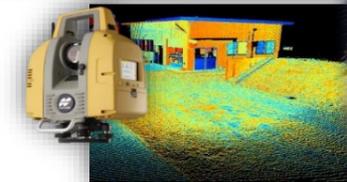
土が崩れない角度で成形したり擁壁と呼ばれる壁を付けたり水が外に出ていくようにしたり…

土が崩れないようにいろいろな工夫がされています。

少しずつ少しずつ土を盛っています。

『路体』と呼ばれる基礎部分は 1回につき、30cm程の高さ『路床』と呼ばれる表面から1mの部分は10~20cm程の高さで土を重ねていきます。

最終的に奥に見える^{おんち}穂池大橋の高さになるまで「土を入れる⇒締め固める」という作業を繰り返すことなんと約30回！！



情報通信技術（ICT）という最新のシステムを使ってスマートに工事を行いました。

この技術を使うことで
人手不足の解消
品質の向上 など → 生産性の向上 が期待できます



段々と橋の上に近づいているのが分かります。



土を重ねていく際の、土の厚みの確認
ローラーで締め固めた回数や通った場所が画面を見れば一目で分かるようになっています。
ICTを使うことで、より精密な作業を行うことができます。